

- 49 ストレス下におかれた子どもたちに必要な能力 ☞ レジリエンス（心の回復力）  
→ 強いストレスによって傷ついた心が回復する条件は、1つには「信頼できる他者」が存在すること。  
☞ 信頼を獲得した教師が子どものレジリエンスを高め、信頼される教師とは安心感を抱かせる教師。安心感は、意欲を引き出す原動力。
- 50 ポスト・コロナの学級経営は、教師の「やり方」ではなく、教師の「あり方」が問われている。学級経営で最も大事なことは、子どもの声に耳を傾けること。これは不易。
- 51 ポスト・コロナの世界に必要なのは、「オンラインか、オフラインか」という二項対立図式に還元されない「革新性をともなう学びの実現」
- 52 「成しとげる力」（永守重信：日本電産創業者）より  
◆六悪  
マナーリ・・・工夫もせずに前例踏襲ばかりをくり返してはいないか  
あきらめ・・・挑戦せずに望みを捨ててはいないか  
怠慢・・・やるべきことをおろそかにしてはいないか  
妥協・・・「これぐらいでいいや」と手を抜いてはいないか  
おごり・・・他人の意見に謙虚に耳を傾けているか  
油断・・・気が緩んで再三、ミスを犯してはいないか
- 53 「納得解」 ⇨ 「最適解」 ☞ できる限り「正解」を伝えたい
- 54 情報リテラシー（情報モラル、ネットいじめ）教育☞ 本校は全教育活動で道徳教育
- 56 陰徳（心の内面の世界） > 陽徳（表に現れる表情、身だしなみなど）
- 57 「主体的、対話的、深い学び」のできる職員室（教職員集団） 当事者意識が要か